

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月9日

【評価実施概要】

| | |
|-------|--|
| 事業所番号 | 4271401137 |
| 法人名 | 医療法人 栄和会 |
| 事業所名 | グループホーム サンテの丘 |
| 所在地 | 〒859-1504 長崎県南島原市深江町戊3000-1及び17 (電話) 0957-65-1770 |

| | | | |
|-------|------------------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 | | |
| 所在地 | 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年11月9日 | 評価確定日 | 平成19年12月7日 |

【情報提供票より】(平成19年10月17日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 13年 4月 1日 |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18人 |
| 職員数 | 18人 常勤 18人, 非常勤 0人, 常勤換算 5.3人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------|
| 建物構造 | 木造造り |
| | 1階建ての 階 ~ 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|---------|-------|
| 家賃(平均月額) | 12,000(1日 400円) 円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷金 | 有(円) | (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 250 円 | 昼食 | 350 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 0 円 |
| | または1日当たり | | 1,000 円 | |

(4) 利用者の概要(10月17日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 4名 | 女性 | 14名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 7名 | | |
| 要介護3 | 4名 | 要介護4 | 2名 | | |
| 要介護5 | 4名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 87歳 | 最低 | 77歳 | 最高 | 99歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------|
| 協力医療機関名 | 泉川病院 上田歯科医院 |
|---------|-------------|


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームを見上げれば普賢岳が仰ぎ見え、下には有明海が広がる自然豊かな土地に建てられている。住宅地の中にあるため、近くには幼稚園や学校があり、ホーム自身が花火大会や生活推進員のボランティアによる団子作りなどの行事を催し、それを通して地域の子供達もホームに馴染みの関係となり遊びに来る等、地域との関係も良好である。庭にはコスモスや花木が植えてあり、四季を感じさせてくれている。また畑にはネギ等を植えてあり、自分たちで作物を育て、食することの楽しみを見出しておられる。当ホームの併設には医療施設があり、日々の健康状態の維持や状態変化の対応には自信を持たれている。さらに職員の意識も高く、現状に満足することなく学び続ける姿勢を持ち続け、常に笑顔で入居者に接する事を目標にされているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の結果に対して改善計画シートを作成され、積極的に取り組まれている。金銭管理の課題も個々に出納帳を作成し、確実な記録と家族への報告がなされているなど、改善されている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で取り組まれている。自己評価の中でホーム自身がもっと取り組みたい内容やグループホームに求められている事などに気づき、さらに学ぶ意欲を高められ、今後のケアサービスに取り組む姿勢を感じられた。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1度のペースで運営推進会議が開催されている。地域の自治会会長や市町村担当者、家族会のメンバーや管理者等の出席があり、グループホームの制度や行事等、積極的な意見交換がされている。また自己評価や外部評価の件も話し合わせ、質の向上を共に取り組まれている。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>訪問時の声かけや家族交流会などで入居者の日々の暮らしぶりを伝えている。また意見箱や訪問された際、帰りがけに声をかけ、意見や要望を聞き出すようにされている。意見としては行事の出席人数や日程などがあり、今後より積極的に通知や電話連絡等で参加を呼びかけることを検討されている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>庭の花等に水まきをする際、近くの幼稚園の園児の散歩時間に合わせて交流したり、ボランティアの方と団子を作って地域の方に配る事で地域との連携をとられている。またホーム主催の花火大会で地域の子供達に参加を呼びかけて馴染みの関係をつくり、普段でも遊びに来やすい雰囲気をつくられている。さらに今後は地域の行事にも積極的に参加したいという意向を持たれ、さらなる地域との連携を考えられている。</p> |

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|-------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| | | 地域密着型サービスとしての理念 | | | |
| 1 | 1 | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型を意識し、「いつも笑顔で 愛情と尊厳を持って！」を理念にされている。入居者と職員がニコニコと笑顔で接しあい、その笑顔が地域との円満な関係に繋がるように心がけている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ケア会議で理念を照らし合わせながら話しをする。また名札の裏に理念を記載され、日々入居者に対する尊厳を意識しながら笑顔と愛情をもって接するなどの取り組みがされている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 庭の花等に水まきをする際、近くの幼稚園の園児の散歩時間に合わせて交流したり、ボランティアの方と団子を作って地域の方に配る事で地域との連携をとられている。またホーム主催の花火大会で地域の子供達に参加を呼びかけて馴染みの関係をつくり、普段でも遊びに来やすい雰囲気をつくられている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は全職員で取り組まれており、自己評価の中でホーム自身がグループホームに求められている事などに気づき、さらに学ぶ意欲を高められ、ケアサービスに取り組む姿勢を感じられた。改善計画シートを作成され、積極的に取り組まれており、第三者からの意見は自分では気づけないところを発見されるので、マンネリ化の防止になるとの意識を持たれている。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度のペースで運営推進会議が開催されている。地域の自治会会長や市町村担当者、家族会のメンバーや管理者等の出席があり、グループホームの制度や行事等、積極的な意見交換がされている。また自己評価や外部評価の件も話し合わせ、質の向上を共に取り組まれている。 | | |

グループホーム サンテの丘

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|------|---|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村担当者との連携の大切さは理解されており、市町村合併前までは保健士の方との交流があるなど、情報交換がされている。しかし市町村担当者とは運営推進会議以外の交流が不足気味である。 | | 今後はさらに市町村担当者や地域包括センターの方々との交流を深め、当ホームが現時点で出来る事を積極的に伝えて行かれることに期待する。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 訪問時の声かけや家族交流会などで入居者の日々の暮らしぶりを伝えている。金銭管理は個々に出納帳を作り、家族に説明されている。また定期的に写真などを同封した便りを発行し、個々に合わせた報告がされている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱や訪問された際、帰りがけに声をかけ、意見や要望を聞き出すようにされている。意見としては行事の出席人数や日程などがあり、今後より積極的に通知や電話連絡等で参加を呼びかけることを検討されている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 栄和会の中で職員の視野の拡大とマンネリ防止のための異動がされている。また異動でホームに来られる職員は認知症の事を理解し、入居者に適した者を選ぶなど、入居者へのダメージを防ぐ配慮がされている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | グループホームケア研究会へ職員を勉強のために出張に出し、参加した職員に報告書を作成・伝達をしてもらう。またホーム内外での研修会にも積極的に参加されている。栄和会自体が様々な委員会をつくり、全体的なレベルアップを図られている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 当ホームの近くに別のグループホームがあり、芋掘り等の行事や勉強会を通して相互訪問され、ネットワークづくりがされている。 | | |

グループホーム サンテの丘

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 併設の施設から来られる際、こまめに職員が顔を出して馴染みの関係を築いたり、訪問介護で顔見知りになることで不安を取り除くなどの工夫がされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 入居者もつ能力(裁縫や畑仕事等)を活かしてもらい、教わりながら過ごされている。また職員は聞き上手な方が多く、入居者が昔の歌などを気持ちよく伝えてもらうなど、楽しく支え合う関係を築かれている。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | 入居者本人やご家族の話から生活歴を作成し、その生活歴を中心にして普段の会話の中から一人ひとりの思いや希望を尋ね、職員全体で検討されることで把握することを努められている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | 介護計画は入居者本人やご家族の希望、毎月のモニタリングによる職員の気づきやアセスメントを総合し、介護計画者が個々に適した具体的な介護計画を作成されている。 | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | 状態変化の際には随時計画を見直されている。また半年に1度の見直しを依然まではされていたが、今年の10月より3ヶ月間と介護計画の見直しのサイクルを早め、現状に即した介護計画の見直しに変更された。 | | |

グループホーム サンテの丘

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 ¹ の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 当ホームの多機能性を活かして通院介助や墓参り等の支援をされている。また入居者のご家族が宿泊を希望された際に対応できるように、寝具が用意されている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけの医療機関である母体の病院による定期受診等がされ、適切な医療が受けられる。また日々のバイタルもとられ、夜間時に状態が急変した時でも、すぐに病院との連絡がとれ、夜間対応が問題なくできるように支援されている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 当ホームが出来うる範囲の看取りの指針が用意されている。医療面が重要な場合には、即入院して頂く等の事を、入居者とご家族の意見が中心とした上で理解をしていただき同意を得ている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 全職員は個人情報保護やプライバシーに関して理解されており、個人情報に記載されているものは事務所等の特定の場所に保管しておられる。また何かあった際、言葉書けもプライドを傷つけないようにさりげなく声かけしておられる。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 起床や就寝、食事や入浴のタイミングなどは入居者本人に任せている。また散歩や買い物 ² の希望ができれば車で対応するなど、入居者が過ごしたいように支援されている。 | | |

グループホーム サンテの丘

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の味付けや配膳等、一人ひとりが自分の仕事として見出し、楽しく食事できるように工夫されている。また旬の食材をいただくことで四季を感じる事が出来る。しかし介助が必要な方がいるため、職員全員で同じ物を食することが難しいと感じられている。 | | 入居者の食事のペースを掴むためにも、同じ食事をいただき更に共有できる喜びや話題になることを期待したい。 |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は基本的に週に3日間だが、入居者が希望すれば朝風呂や毎日でも入ることが出来るため、満足されている。また入浴拒否がある場合、清拭や陰部洗浄などで対応されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活歴を把握されており、畑を耕すことや縫い物、趣向品のタバコの一服等、一人ひとりの趣味や特技を活かして楽しく暮らす事の出来る環境作りを工夫されている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近くのグループホームまで散歩したり、ドライブを出来る範囲で出かけたり、日光浴や花の水やりなど、ホームに閉じこもることのないように支援されている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 基本的に日中鍵を掛けることはなく、職員の見守りと声かけ、玄関のチャイムや地域の方の見守りの協力等で鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署立ち会いの基、避難訓練や消火訓練を年に2回行われている。また夜間の事も想定されて訓練されている。しかし火災以外の災害は訓練が不足している。 | | 今後はさらに様々な災害のケースを想定した避難訓練が望まれる。また避難後のライフラインの確保のために必要な物を確認し、地域の方にもさらなる協力者を求められることに期待したい。 |

グループホーム サンテの丘

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|--|---|------|---|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取する時間を決めてあり、食事量も記録に残して入居者の体調維持を支援されている。栄養面もホーム内でカロリー計算をされており、時には栄養士の方の意見を伺われている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングの間取りは広々として、ゆったりと過ごせる。お風呂場の脱衣所では冬の寒さで風を引かないように暖房機が用意されている。またホーム内に行事の楽しげな写真が飾られており、過ごし良い工夫がされている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者がご自宅で使われていたソファ - や机、花立てや椅子などが持ち込まれている。しかし、まだ持ち込みの少ない入居者の部屋もあった。 | | 当ホームは入居者のご家族への呼びかけを続けられ、さらに馴染みの物に囲まれて過ごすことの大きさを伝えられることで、ご家族が呼びかけに応じていただける事に期待したい。 |